

### 1. 留学の目的・理由

私がフランスに留学した主な理由は、違う世界を見てみたかったから、大好きなヨーロッパに行ってみたかったからです。私は初修外国語を、ヨーロッパ圏であることや話者が多いことなどを理由にフランス語を選択しました。夏休み期間で短期留学したいと考えており、はじめは英語圏のショートプログラムを検討していましたが日程などが合いませんでした。そこでフランス留学を見つけ、私は農学部でフランス語は専攻と全く関係ないのですがワクワクしてしまったので行くことに決めました。

### 2. 授業・学習について

フランス南東部のグルノーブルで、グルノーブル・アルプ大学付属の語学センターに1か月間通いました。同じプログラムの日本人学生は30人ほどいました。授業は午前か午後の半日で、全てフランス語でみっちり行われました。4時間ほどで短いように思えますが、毎日へとへとになるほど濃い授業だったのでちょうどよかったです。渡航前のテストがよくできていたようで、フランス語専攻の学生もいる中上級クラスに配属されました。授業の内容は文法をベースに様々なテーマがありました。実力以上のクラスだったので、聞き取れなかったり単語の意味がわからなかったりしてついていくのに必死でしたが、自主学習のおかげでだんだんと理解できることが増えるのを感じることができて嬉しかったです。宿題はリスニングや作文などが課されました。2週目からは他国からの学生と合同クラスでしたが、私のクラスはほとんどが日本人でした。中国、韓国、台湾、ブラジル、ウクライナ、他クラスにはもっと多様な国からの学生がいて、年齢が上の方もいました。短い休み時間に英語で雑談できました。

### 3. 留学先での生活、授業外の過ごし方

ホームステイと寮が選べましたが、私は海外が初めてでホームステイは不安だったため寮を選択しました。食事は出ないので外食をするか、スーパーで食材を買って自炊しました。初海外でわからないことだらけだったのですが、同じプログラムの日本人学生とすぐに仲良くなることができ、みんなで協力して生活することができました。寮は割と綺麗でしたが、よく虫がいたりたまにトイレが汚かったりすることがありました。友達と共有キッチンに集まってよく一緒にご飯を食べました。

授業の後は友達とよくレストランやショッピングに行っていました。学校主催のアクティビティがあり、みんなでバスティーユ牢獄や遺跡、山の上の湖などにも行ってとても楽しかったです。市内はバスや路面電車でどこでも移動できてとても便利でした。グルノーブルは山に囲まれていて毎日綺麗で、旧市街には歴史あるヨーロッパらしい街並みが広がり、治安もよく素晴らしい街でした。土日はパリ、リヨン、ニース、マルセイユに旅行に行き充実した毎日を過ごしました。EUなのでスイスやイタリアに行くこともできます。

非常に衛生面のレベルの高い日本で暮らしていたので、衛生環境が良くないことが少し辛かったです。道にはよくゴミが落ちていて、トイレが汚いのは当たり前で男女共同のものも多く初めは受け入れ難かったです。日本の綺麗さはすごいと思い知らされました。

#### 4. 印象に残ったこと

印象的だったことはたくさんありますが、特に大変だったことがあります。バスで購入していたアプリが正常に起動せず無賃乗車とみなされて罰金を取られたこと、そしてパリの地下鉄でスマホを盗られたことです。十分気を付けていたつもりでしたが、実際に被害に遭ってしまいました。罰金払い戻しの交渉をしたり、警察に盗難届を出しに行ったりと、日本にいてもあまりできない経験ができたプラスに考えています。こんなに物騒な話をすると心配になってしまうかもしれませんが、他の友達はほとんど無事に過ごしていたので安心してください。とても運が悪かったのだと思います。友達が協力してくれて、その後も楽しく過ごせました。

#### 5. 語学力について

もちろん1ヶ月なので劇的に語学力が上がることはないですが、リスニング力、単語力、伝えようとする力は鍛えられました。寮に滞在し、また日本人と多くの時間を過ごしてしまったこともあり、ずっとフランス語漬けには出来ませんでした。授業やお店で本場のフランス語を浴びることでかなり理解できるようになりました。しかし、やはり先生のフランス語は易しくゆっくりめだったので、店員さんの言葉はわからないことが多かったです。わからないことをすぐに調べたり、授業で勇気を出して発言したりすることが、上達に繋がると思いました。話す力をつけるには自分から話す機会を増やすことが一番だと感じました。帰国後はフランス語検定取得を目標に学習を続けています。

#### 6. おわりに

悲しいことや辛いこともありましたが、それ以上に楽しく素晴らしい経験を得ることができて、夢のような1か月でした。こんなに充実した夏休みは今までありません。ずっと憧れていたヨーロッパの古い街並みの中にいたこと、様々な美味しいものを食べたこと、多様な人たちに会い友達になったこと、なかなか遭遇しないアクシデントに見舞われたこと、書ききれないことがたくさんあります。海外に滞在することで逆に日本の良さに気付くこともできました。短期ではありましたが、私にとって今回の留学に行く決断はかなりの挑戦でした。勇気を出して一歩踏み出して本当によかったと感じています。またいつか絶対行きたいと強く思います。もし留学するか迷っている人がいたら、ぜひ飛び出してみしてほしいです。



ロープウェイから見下ろしたグルノーブルの景色



スーパーマーケットに並ぶ野菜



大学内を走るトラム(路面電車)